



美しい 県土づくりNEWS

2014年
3月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 116 号
平成 26 年 3 月 28 日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

目次

- 2 三陸沿岸道路「尾肝要道路」開通！
- 4 三陸沿岸道路「高田道路」全線開通！
- 6 応援職員 58 名が任期を終え退任
- 8 第 4 回岩手県における復興祈念公演基本構想検討調査有識者委員会を開催！
- 9 まちづくりセミナー(野田村・城内地区高台団地)を開催！
- 10 盛川でヨシ焼きを実施しました！
- 11 平成 25 年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」で優秀賞(事務次官賞)を受賞！！

三陸沿岸道路 尾肝要道路 の開通に続いて、 三陸沿岸道路 高田道路 が全線開通しました！

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所がこれまで事業を進めてきました**三陸沿岸道路「尾肝要道路」が、3月2日(日)に開通**しました。

「尾肝要道路」は、復興道路「三陸沿岸道路」の一部を構成する延長4.5kmの自動車専用道路で、

県内の三陸沿岸道路としては昨年 10 月に開通した「普代道路」に次いで2箇所目の開通となります。

また、国土交通省東北地方整備局南三陸国道事務所がこれまで事業を進めてきました**三陸沿岸道路「高田道路」が、3月23日(日)に全線開通**しました。

「高田道路」は、復興道路「三陸沿岸道路」の一部を構成する延長7.5kmの自動車専用道路で、平成 21 年3月に通岡IC～大船渡基石海岸ICまでの3.4kmが供用していましたが、**今回の陸前高田IC～通岡ICまでの4.1kmの供用により全線開通**しました。

開通に先立ち、それぞれ開通式が行われ、開通を待ち望んでいた地元の皆様など多くの方々が参列しました。



平成26年3月2日(日)三陸沿岸道路「尾肝要道路」開通!

～国道45号最大の難所・閉伊坂峠を回避～

道路建設課
沿岸広域振興局土木部
岩泉土木センター



岩手県 千葉茂樹副知事(中央左)、田野畑村 石原弘村長(中央右)をはじめ、鈴木俊一衆議院議員、畑浩治衆議院議員、平野達男参議院議員、田野畑小学校児童の方々ほかご来賓の皆様によるテープカット及びくす玉開披

三陸沿岸道路「尾肝要道路」 事業概要

延長 4.5km
(尾肝要トンネル 2,736m)
幅員 12.0m (トンネル 9.5m)

事業着手 平成 18 年度
工事着手 平成 21 年度

供用 平成 26 年 3 月 2 日
全体事業費 約 105 億円



尾肝要道路は、地域高規格道路「三陸北縦貫道路」の一部として、平成18年度に事業化され、国土交通省により整備が進められてまいりました。震災以降は、被災した地域の復興を牽引する復興道路「三陸沿岸道路」の一部となりました。

この度の開通は、所要時間の短縮・走行安全性の向上、また宮古市～久慈市間のアクセス性向上による地域間の連携強化が図れるものと期待されます。

三陸沿岸道路「尾肝要道路」開通に至るまで

(1)復興道路着工式

東日本大震災の発生から8ヶ月あまりが経過した平成23年11月20日、復興のリーディングプロジェクトである復興道路「三陸沿岸道路『尾肝要道路』」の尾肝要トンネル工事現場において、復興道路着工式を開催しました。

(2)尾肝要トンネル貫通

平成23年11月に着工した尾肝要トンネルが貫通し、平成25年2月10日、尾肝要トンネル坑内にて『貫通式』が行われました。

(3)尾肝要トンネルで防災訓練

平成26年2月21日に尾肝要トンネルにおいて、三陸沿岸地域道路等防災対策連絡協議会の主催により、岩泉土木センター・田野畑村・岩泉警察署・宮古地区広域行政組合消防本部・三陸国道事務所が合同でトンネル防災訓練を実施しました。



三陸沿岸道路「尾肝要道路」開通式の様子



▲地元の方々による「菅窪鹿踊（すげのくぼししおどり）」が式典を盛り上げました



▲達増知事のあいさつを代読する千葉副知事



▲田野畑小学校児童が「田野畑村の未来」「未来の自分へ」について綴った思いをタイムカプセルに込めました



▲式典会場に掲示されたパネル
地域の皆様とともに尾肝要道路は開通の日を迎えました



▲尾肝要道路の事業概要を説明する
国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所の工藤栄吉所長

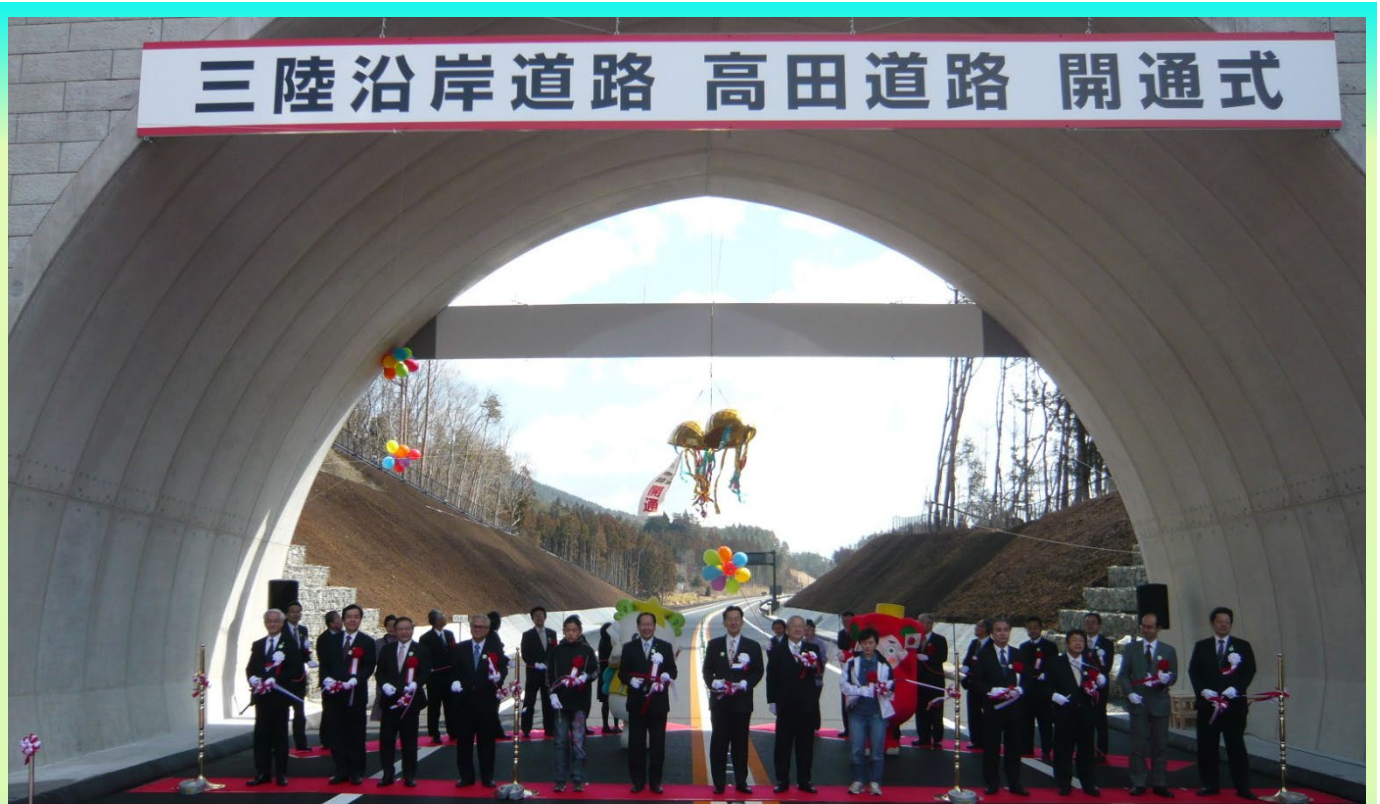


▲開通を祝して行われたパレード

平成26年3月23日（日）三陸沿岸道路「高田道路」全線開通！

～津波浸水区域を回避し、道路の信頼性を確保～

道路建設課
沿岸広域振興局土木部
大船渡土木センター



岩手県 達増拓也知事(中央)、陸前高田市 戸羽 太 市長(中央左)、大船渡市 戸田公明市長(中央右)をはじめ、黄川田 徹 衆議院議員、平野達男参議院議員、高田小学校児童・米崎小学校児童の方々ほかご来賓の皆様によるテープカット、くす玉開披及びバルーンリリース

三陸沿岸道路「高田道路」 事業概要

延長 7.5km

幅員

2車線区間 12.0m

追越車線区間 22.0m

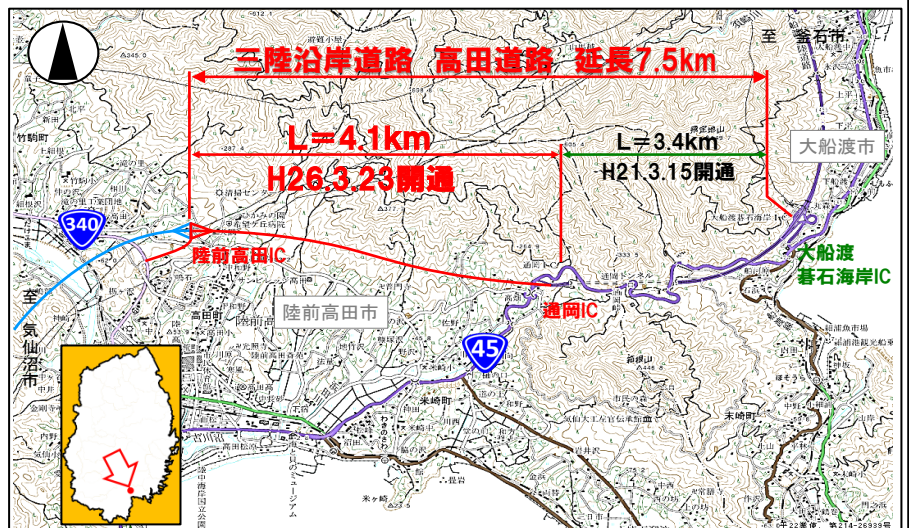
事業着手 平成 6 年度

工事着手 平成 13 年度

全線供用

平成 26 年 3 月 23 日

全体事業費 約 190 億円
(暫定 2 車線)



高田道路は、高規格幹線道路「三陸縦貫自動車道」の一部として、平成6年度に事業化され、国土交通省により整備が進められてまいりました。震災以降は、被災した地域の復興を牽引する復興道路「三陸沿岸道路」の一部となりました。

この度の開通により、

- ①津波浸水区域を回避し、道路の信頼性を確保
- ②救急搬送時間の短縮で安心な生活を確保
- ③産業活性化で地域の活力を支援

などの整備効果が期待されます。

三陸沿岸道路「高田道路」開通式の様子



会場に到着した達増知事を出迎える陸前高田市マスコットキャラクター「たかたのゆめちゃん」と大船渡市マスコットキャラクター「おおふなトン」



▲県立大船渡東高等学校太鼓部の皆様（左）と陸前高田市「氷上太鼓」の皆様（右）が、開式に先立ち、お祝いの「和太鼓」を披露しました



▲県立高田高等学校吹奏楽部の皆様によるお祝いの演奏が式典を盛り上げました



▲達増知事が主催者として挨拶しました



▲県立大船渡病院の伊藤達朗院長からお祝いのご挨拶をいただきました



▲高田道路の事業概要を説明する国土交通省東北地方整備局南三陸国道事務所の柴田吉勝所長（右）



▲地元高校生による「高田道路開通への思い」発表



▲昨年9月8日の高田道路の見学会の様子式典会場で紹介・展示されました



開通パレードの様子。高田道路は、地域の皆様から多大な御支援をいただいて開通しました

応援職員 名の派遣期間終了

～全国からの支援、復興への尽力に感謝～

県土整備企画室

平成 26 年 3 月 31 日をもって、全国から県土整備部へ派遣いただいていた 名の応援職員が派遣期間を終え、派遣元に戻られることになりました。

平成 25 年度、県土整備部では、全国 20 都府県市から力強い 71 名の応援職員を派遣いただき、復興道路や防潮堤、災害公営住宅などの整備に向けた取組を進めてきました。

かつてない大規模な災害からの復旧・復興を成し遂げていくためには、様々な課題があり、応援職員の方々には、課題解決に向けて真摯に取り組んでいただきました。

家族と離れ、遠く住み慣れない土地に赴任し、厳しい環境での生活の中で、日夜業務に奮闘いただきましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

復興事業はこれからが本番です。この出会い・つながりを大切に、全国に多くの岩手・復興の応援隊がいることを心強く思い、今後も東日本大震災津波からの復旧、復興に取り組んでいきます。



※派遣期間が終了する
応援職員の方々、次ページで紹介しています。





「第4回 岩手県における復興祈念公園基本構想検討調査有識者委員会」を開催!

都市計画課

県が整備する高田松原津波復興祈念公園全体と、公園内に設置する国営復興祈念施設の基本構想を策定するための有識者委員会が3月10日にアイーナで開催されました。

(開催概要)

- 日時(場所)：平成26年3月10日(月) 16:30~18:30 (アイーナ803会議室)
- 議事：基本構想(素案)について
- 委員構成：中井検裕(東京工業大学教授)委員長を始め7名の学識経験者及び
佐藤悟(岩手県県土整備部長)はじめ6名の行政委員、合計13名で構成。

1 基本構想(素案)の概要

【基本理念】

奇跡の一本松が残ったこの場所で
犠牲者への追悼と鎮魂の思いとともに
震災の教訓そこからの復興の姿を
高田松原の再生と重ね合わせ未来に伝えていく。

【基本方針】

- ・失われたすべての生命(いのち)の追悼・鎮魂
- ・東日本大震災の被災の実情と教訓の伝承
- ・復興への強い意志と力の発信
- ・三陸地域に育まれた津波防災文化の継承
- ・公園利用者や市街地の安全の確保
- ・歴史的風土と自然環境の再生
- ・市街地の再生と連携したまちの賑わいの創出
- ・多様な主体の参加・協働と交流



第4回有識者委員会開催状況

【空間構成の考え方】空間構造と当公園の果たすべき役割のイメージ



2 今後の予定

- 4月上旬~中旬：基本構想(案)に対するパブリックコメント(予定)
- 5月上旬~中旬：第5回有識者委員会開催(予定)
- 5月下旬以降：基本構想の公表

「まちづくりセミナー（野田村・城内地区高台団地）」を開催！

都市計画課

「笑顔と希望あふれるふるさと再生事業」（予算 130万 円）の一環となる、野田村城内地区の防災集団移転促進事業の高台団地居住予定者を対象とした「城内地区高台団地まちづくりセミナー」を開催しました。

1 開催概要

日時（場所）：平成 26 年 3 月 15 日（土）14：00～16：00（野田村 中平（なかたい）公民館）

参加者 団地居住予定者：13 名

野田村：小田村長ほか 2 名、県：横山総括課長ほか 4 名、スタッフ：NPO 職員 8 名

2 「笑顔と希望あふれるふるさと再生事業」の趣旨

地域らしい“景観”と親しみのある“ふるさと”再生のため、そこに住む予定の方々と「暮らし」について議論し、基盤整備と実際の暮らし・生活が調和するようなまちづくりを目指す。

また、この取組みを通じて、被災された方々が「ふるさとに住み続けたい」と考え、復興に携わる人々が「復興して良かった」と思えるような、“ふるさと”の再生につなげていくもの。

3 スケジュール

	開催日	テーマ
第 1 回	H25.12.14	現状の課題や高台団地に対する意見等について
第 2 回	H26.1.25	季節の行事や日常生活に必要な暮らしの空間について
第 3 回	H26.2.15	「家のつくり」、「にわのつくり」、「団地のつくり」といった暮らしの空間について提案
セミナー（今回）	H26.3.15	これまでの検討会での意見を踏まえ、学識経験者を交えまちづくりを考える
第 4 回（予定）	H26.3.29	検討会及びセミナーを通して「景観と暮らしのデザインガイド」をとりまとめ

4 今回のまちづくりセミナーでのまちづくりの学識経験者

倉原 宗孝 岩手県立大学 総合政策学部 教授

三宅 諭 国立大学法人岩手大学 農学部 准教授

渡辺 敏男 NPO 法人いわて景観まちづくりセンター代表理事

5 今後の取り組み

都市計画課では、来年度も沿岸部の市町村で同様なまちづくり検討会等を委託し、二カ年の検討会の経緯と手法を「景観と暮らしのデザインガイド」として取り纏め、ふるさと再生の復興まちづくりを進める市町村へ情報提供を行うとともに、良好な景観形成等の取り組みが促進されるよう支援していきたいと考えております。

まちづくりセミナーの様子



盛川でヨシ焼きを実施しました！

大船渡土木センター

平成 26 年 3 月 2 日（日）、盛川の佐野橋上流の運動公園付近の河川敷でヨシ焼きと河川清掃を行いました。

盛川のヨシ焼きは、平成 13 年 8 月の台風 11 号でヨシが大船渡湾内に流出、養殖施設が被害を受けたことを契機に公民館、学識経験者、漁協、大船渡合同庁舎内各センターをメンバーとしたヨシ焼きにかかる検討会を立ち上げ、洪水時のヨシの流出対策や景観保全を目的に平成 15 年度から実施しているものです。

今年度で 11 年目となりますが、途中、暴風警報等による中止が 4 回ほどあって、今回の開催は震災以降 3 年ぶり 7 回目の開催となり、流域の盛町、猪川町、赤崎町の住民の方々や、市漁協、盛川漁協、市職員、振興局職員等約 120 人がヨシ焼きやゴミ拾いを行いました。

作業には、他県からの応援職員や他センターの職員にも多数参加していただきました。来年度以降もヨシの流出対策や景観保全のため、継続して実施していく予定です。



開会式の様子



ヨシの集積作業



ヨシへ着火



ゴミ拾い

平成25年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」で 優秀賞(事務次官賞)を受賞！！

～土砂災害から人命・財産を守るために～

砂防災課

国土交通省では、例年、土砂災害防止月間（6月1日～6月30日）行事の一環として、全国の小・中学生の皆さんから土砂災害やその防止に関する絵画・作文を募集し、優秀な作品を表彰しています。

今年度、本県では、小・中学校あわせて15校から66点の応募があり、応募作品の中から各部門の優秀作品を国土交通省に推薦したところ、1作品が優秀賞（事務次官賞）に選ばれました。

あわせて、岩手県における入賞者についても次のとおり決定しました。

★★★ 国土交通省審査入賞者 ★★★

【作文（小学生）の部】 ◆全国応募総数258点◆

優秀賞（事務次官賞） 一関市立滝沢小学校 5年 菅原綾河さん

★★★ 岩手県審査入賞者 ★★★

【絵画（小学生）の部】

最優秀賞	北上市立黒沢尻北小学校	5年	白 勢 央 樹	さん
優 秀 賞	一関市立滝沢小学校	5年	佐々木 誠 弥	さん
特 別 賞	北上市立黒沢尻北小学校	3年	高 橋 佑 介	さん
特 別 賞	奥州市立水沢小学校	5年	藤 村 愛 瑠	さん
特 別 賞	大槌町立大槌小学校	6年	阿 部 大 輝	さん

【作文（小学生）の部】

特 別 賞	滝沢市立一本木小学校	4年	大 森 遥 陽	さん
特 別 賞	一関市立滝沢小学校	5年	吉 田 七 彩	さん

【絵画（中学生）の部】

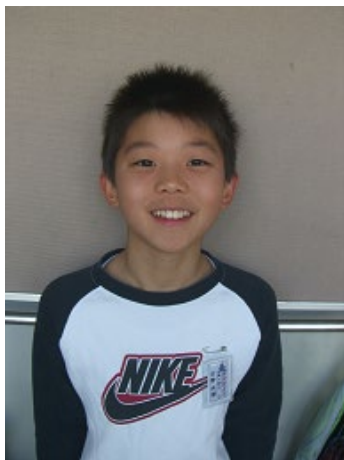
最優秀賞	大船渡市立綾里中学校	3年	佐 藤 文 夏	さん
特 別 賞	北上市立北上中学校	3年	後 藤 凜 花	さん

【作文（中学生）の部】

優 秀 賞	花巻市立矢沢中学校	2年	佐々木 真 依	さん
特 別 賞	花巻市立矢沢中学校	2年	杉 山 理 久	さん
特 別 賞	盛岡市立飯岡中学校	3年	川 村 優 奈	さん



優秀賞（事務次官賞）を菅原さんへ伝達



県最優秀賞を受賞した白勢さんと受賞作品



県最優秀賞を佐藤さんへ伝達

優秀賞（事務次官賞）を受賞された菅原さん、県最優秀賞を受賞された佐藤さんへ、平成26年3月10日から11日にかけて、それぞれの学校において賞状と副賞を贈呈しました。

県最優秀賞を受賞された白勢さんへは、後日、校長先生より賞状と副賞を贈呈していただきます。

受賞された皆さん、おめでとうございます！